

学校だより 磯松 7月号

生活二題： 明るく元気なあいさつをしよう!! 時間を守り，機敏な行動をしよう!!

心に残る楽しい夏休みに

校長 新門 健一

いよいよ明日から夏休みに入ります。松藤君が怪我により現在鹿児島市でリハビリに励んでおり、19名全員が硫黄島でそろって夏休みを迎える事が出来なかったのは残念ですが、松藤君も順調に回復に向かっており、二学期の始業式は19名全員そろって迎えられるのではと思っています。保護者の方々をはじめ地域の皆様には、一学期の間惜しみない御協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、子どもたちは夏休みの42日間をどのように過ごすのでしょうか。小学生と中学生では違いがあるでしょうが、その子らしい夏休み、思い出のいっぱい詰まった夏休み、地域に根ざした夏休み、「家族の一員」が実感できる夏休み、何かに思いっきり打ち込んだ夏休み、最後までやり遂げた自慢をつくる夏休み等、親子で過ごし方を話し合っしてほしいと思います。二学期の始業式には、こんな夏休みでしたと言えるように過ごしてほしいです。

- ① 自分で出来る家事(手伝い)をすること
- ② 朝10時までは勉強をすること
- ③ 規則正しい生活(ラジオ体操、早寝早起き等)をすること
- ④ 地域行事、子ども会行事等、仕事には進んで参加すること。
- ⑤ あいさつを交わすこと。(おはようございます、こんにちは、・・・)

以上の5点については、特にきちんと守り、病気や怪我をすることなく心に残る楽しい夏休みを過ごしてください。

日焼けしてたくましくなった子どもたち全員と二学期の始業式に会えるのを楽しみにしています。42日間、地域で子どもたちをあたたく見守ってください。よろしく申し上げます。



校内水泳大会

9日(金)に「校内水泳大会」がありました。当日の朝は、あいにくの天気で開催が危ぶまれましたが、いざ始まってみると“日頃の行いか”と思えるような過ごしやすい天気になりました。子どもたちも、日頃の学習の成果を十分に出し切って、プール開きの時とは違ったそれぞれに成長のある泳ぎを見せてくれていたように思います。これまで泳ぎを苦手としていた子どもたちも、泳げるようになった、自信をつけたというような姿を目にすることもありました。当日はプールでの様々な運動ゲームもあり、楽しい校内水泳大会となりました。

これから夏休みを迎えますが、この夏休み期間中にも、さらに水と親しんで泳ぐことを好きになってほしいと思います。



性教育”わたしのたん生”

14日(水)に小学部3・4年生の学級活動で「性教育」の授業が行われました。授業者は本校の川畑千種養護教諭です。授業の始めに、小さい頃のことについて川畑教諭から質問があり、お家の人から聞いている小さい頃の様子について発表していました。川畑教諭からは、お母さんのお腹の中にいるときの様子について、図などの教材を使って具体的な説明がありました。子どもたちは、うなづきながら聞いていました。授業の後半でお家の方からの「誕生日前後の様子についての手紙」を聞いているときは、どの子もお家の方々の愛情に触れ、教室全体が温かい雰囲気になりました。手紙を渡された子どもたちは、親の愛を感じながらそれをじっと見入っていました。



熱中症に気をつけよう

7日(水)の児童集会で保体委員会の児童生徒が、「熱中症予防」についてみんなによびかける発表をしてくれました。発表してくれたのは、保体委員会の前川夏也くん、佐藤詩緒里さん、岡村海杜くん、森山倫多郎くん、平田紗璃奈さんの5人です。熱中症は、①すごく暑い日、②梅雨明けの蒸し暑い日、③前の日より急に暑くなった日になりやすいということや、頭が痛かったり、めまいがしたりするときは危険なので気をつけることなどについて発表してくれました。また、予防のために、外では帽子をかぶること、水分をこまめにとること、好き嫌いをなくバランスよく食べ健康な体をつくることなどについてみんなに教えてくれました。この発表で、子どもたちが熱中症についての関心を高めてくれたものと思います。熱中症に限らず、夏休み中も健康に気をつけて、元気に過ごしてほしいものです。



「夏の祭典」に向けて頑張っています!!

今年度も中学部の生徒が、23日(金)の県中学校音楽コンクール「夏の祭典」に参加します。

子どもたち一人一人が、本番に向けて、一生懸命ジャンベ練習に取り組んでいます。

本番間近となり、ますます練習にも熱が入ってきました。当日は、三島中学校ならではの抜群のチームワークで力強いジャンベ演奏を披露してほしいです。

「研究授業」への取り組み

指導力向上のために本校職員は、この一学期様々な研究授業を行ってきました。小学5年「国語」は、言葉の学習でした。内教諭は、仮名遣いについて一般的な場について触れた後に、特別な場合について説明し、注意を促していました。中学1年生の数学では、宮本教諭が買い物をするという具体的な場面を設定し、代数を生活の中でとらえやすくなるように授業を工夫していました。中学1～3年生の道徳では、立岡教諭が「生類憐れみの令」を資料として“正義”について、具体的事例を元に考えさせていました。今後もよりよい授業を目指し、努力をまいります。

